

報告事項 No.1

会 議 録

会 議 の 名 称		令和3年度第5回守谷市地域自立支援協議会
開 催 日 時		令和4年1月28日（金）
開 催 場 所		
所管課		保健福祉部 社会福祉課
出席者	委 員	
	事 務 局	

審 議 経 過

新型コロナウイルス感染拡大のリスクを回避するため、令和3年度第5回守谷市地域自立支援協議会は、書面協議で行った。

1 議 題

（1）障がい児者災害時避難支援ガイドブックについて（協議事項）

第4回の協議結果に基づき修正された資料について、委員から次のような意見があった。

- ・色を変える等、視覚的に見やすい様に工夫するとさらに良いかと感じた。
- ・実際に災害時用救急カードを配付され記入している方は、少なくないように思う。
- ・資料について、点字での表示・CDにして配布する等の工夫を取り入れていただきたい。
- ・とても詳しく書かれており、ふりがなをふってあることで、みんなが使いやすいものになっているように感じた。
- ・災害時の第一の避難先は、家庭、サロン、地域の避難所として考えることが大切である。それには、日頃の世代交流、地域交流が大切である。市内の多くの福祉施設の特長を考え、その施設の対象者を一時避難することも大切かと思う。福祉施設の協力も日頃よりお願いしておきたい。
- ・公助の仕組みづくりはできているか？実際に有事の際、稼働するかが問題。
- ・地域福祉計画（第3期）にあるような、「個別計画」を居住地域の自治会、町内会等と連動し、共助の仕組みづくりが大切だと考える。
- ・3ページ正確な情報を得るようにし、デマには惑わされないように、とあるが、はじめからデマとは決めつけられない。

→対策として、2つ以上の情報源を持つとか、信頼できる〇〇さんにとりか、この

組織と課に確認する、とかが良いのではないか。

有事の際、安否確認等で互いの連絡は欠かせないが、いつも通信が可能なわけではない。通信ができなければ、こうする、というものも必要。車が無理ならバイク、自転車あるいは歩きで。

- ・災害時用救急カードのページは、可能なら、防水紙になれば安心だと思う。

(2) ボランティアニーズの把握について（協議事項）

ボランティアニーズの把握について、委員から次のような意見があった。

- ・現在コロナ禍ということもあり、なかなか入所施設への訪問は難しいと思うがコロナ禍ではないとしたならば、①清掃（ワックスがけ）②草取り③レクリエーション（手品や踊りなど）が考えられる。
- ・イベントの手伝い（夏祭り・運動会など）などが考えられる。
- ・ボランティアをする方、希望される方、それぞれのニーズを明確にし、良いマッチングができる仕組みが広く知られ、活用されることを期待する。
- ・最初の一步としてのニーズの把握で、良い意見や希望を吸い上げるように工夫していただきたい。
- ・「ボランティアを依頼した方へ」その内容を尋ねる項目があるが、どのようなところに、どのような手順で依頼しているのか、現状を知りたいと思う。
- ・ニーズ調査（案）対象者がもう少し本人の生活に関わる方々の（学校、職場など）範囲が広い方が良いと感じた。ニーズの把握調査としては、限定的になっていると思う。
- ・特別支援学校への通学で守谷市の場合、肢体不自由児は下妻になるが、どうしても距離が遠くて通うのが大変であるという声を聞いた。保護者の負担も大きい。（スクールバスを利用する際も障がい重い利用が難しいとのこと）。例えば、ボランティアで送迎サービスをすることはできるのか。取手市なども守谷市と似た状況かと思う。近隣自治体で一緒にできると助かる保護者がいると思う。
- ・ボランティア活動をする場合、基本はその方々が何か困っているか、どうしてほしいか、最初に行動に移すことのないようにお互いに理解してほしい。地域で、町内で、各委員会、団体に災害ボランティアの心を学ぶ機会があってほしい。自分のできるボランティアは何か、充分考えて参加して戴くことが大切かと思う。
- ・第3期守谷市地域福祉計画基本施策3にあるように、居住している地域内では、日常の見守り活動（ボランティア支援）の仕組みづくりが重要だと思う。
- ・自助、共助のサポート活動が有事の際実際に行われるかが不安である。
- ・以前、いわゆる“ごみ屋敷”の片づけをしたことがあったが、こういうのは、ボランティアの範疇を越えるものなのか。また、庭木が大きくなって、という場合の処分等はどうなるのか？
- ・成年後見人が増えるとありがたいが、失礼ながら、本当にボランティアで質の高い後見を引き受けてくれる人がいるのか心配に感じる。